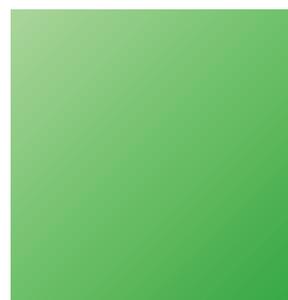


過疎地域持続的発展

優良事例表彰

令和6年度



令和6年度 過疎地域持続的発展優良事例表彰受賞団体

総務大臣賞

- 秋田県 大仙市

NPO法人南外さいかい市
地域のことは自分たちで!
- 高知県 梶原町

集落活動センターゆすはら連絡協議会
「できることから進める!」を合言葉に
- 鹿児島県 鹿屋市

高隈地区コミュニティ協議会
高隈の恵みを活かし人々が集う郷づくり
- 鹿児島県 龍郷町

一般社団法人 E'more 秋名
50年後も子どもたちが住みたいと思えるシマ(集落)であり続けてほしい

全国過疎地域連盟会長賞

- 北海道 厚沢部町

保育園留学推進協議会
次の100年を創造する地域の家族と繋がりをつくる!
- 山形県 上山市

羽州街道「檜下宿」研究会
茅葺文化の適正な保存と活用を通じた歴史まちづくり
- 山梨県 北杜市

北杜市南アルプスユネスコエコパーク地域連絡会
環境保全の一層の推進と人的交流の活性化
- 岡山県 高梁市

平川村定住推進協議会
みんなが主役天空の郷・平川
～地域ぐるみの定住・新規就農者の受入体制確立～
- 徳島県 上勝町

特定非営利活動法人 郷の元気
農山漁村地域の中間支援を行ない郷に元気を創ります

05P 秋田県大仙市 NPO法人南外さいかい市

13P 北海道厚沢部町 保育園留学推進協議会

21P 徳島県上勝町 特定非営利活動法人 郷の元気

19P 岡山県高梁市 平川村定住推進協議会

09P 鹿児島県鹿屋市 高隈地区コミュニティ協議会

15P 山形県上山市 羽州街道「檜下宿」研究会

17P 山梨県北杜市 北杜市南アルプスユネスコエコパーク地域連絡会

11P 鹿児島県龍郷町 一般社団法人 E'more秋名

07P 高知県梶原町 集落活動センター ゆすはら連絡協議会



優良事例表彰制度の概要

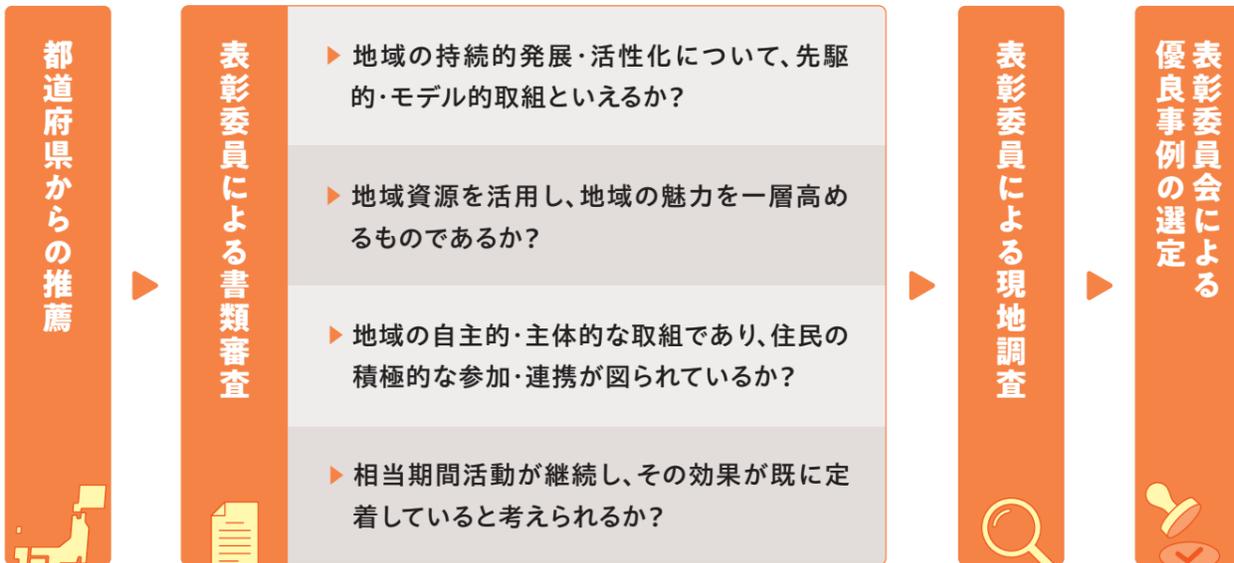


今日、過疎地域では、人口減少、少子高齢化の進展など他の地域と比較して厳しい社会経済情勢が長期にわたり継続しており、地域社会を担う人材の確保、地域経済の活性化、情報化、交通機能の確保及び向上、医療提供体制の確保、教育環境の整備、集落の維持及び活性化、農地、森林等の適正な管理などが喫緊の課題となっています。

一方で、過疎地域は、食料、水及びエネルギーの安定的な供給、自然災害の発生の防止、生物の多様性の確保その他の自然環境の保全、多様な文化の継承、良好な景観の形成などの多面にわたる機能を有し、これらが発揮されることにより、国民の生活に豊かさと潤いを与え、国土の多様性を支えています。

こうした中で、過疎地域の課題の解決に資する動きを加速させ、これらの地域の自立に向けて、過疎地域における持続可能な地域社会の形成及び地域資源などを活用した地域活力の更なる向上が実現するよう、全力を挙げて取り組むことが極めて重要です。

本制度は、地域の持続的発展と風格の醸成を目指し、過疎地域において課題の解決に取り組み、創意工夫が図られている優良事例について表彰を行います。



- ▶ 地域の持続的発展・活性化について、先駆的・モデル的取組といえるか?
- ▶ 地域資源を活用し、地域の魅力を一層高めるものであるか?
- ▶ 地域の自主的・主体的な取組であり、住民の積極的な参加・連携が図られているか?
- ▶ 相当期間活動が継続し、その効果が既に定着していると考えられるか?

表彰式

日時 令和6年10月24日(木) 13時20分
場所 YCC県民文化ホール (山梨県立県民文化ホール)
 (全国過疎問題シンポジウム2024 in やまなし 全体会会場)
 山梨県甲府市寿町26-1

令和6年度表彰委員会委員 (敬称略)



委員長
図司直也
 法政大学 現代福祉学部
 福祉コミュニティ学科
 教授



委員
指出一正
 「ソトコト」編集長



委員
田中輝美
 島根県立大学 地域政策学部
 准教授
 ローカルジャーナリスト



委員
田邊寛子
 まちひとこと総合計画室
 景観・コミュニケーション
 デザイナー



委員
野田満
 さんそデザイン共同代表
 近畿大学 総合社会学部
 講師

委員長講評 図司直也

本年度も、表彰委員による書類審査と現地調査を経て、委員会での協議の上、総務大臣表彰4団体、全国過疎地域連盟会長賞5団体を選定致しました。以下、順不同でご紹介します。

総務大臣表彰には、「地域運営組織」に関連する取り組みが並びましたが、その活動内容や主体、形態はそれぞれ特徴的です。鹿児島県鹿屋市の**高隈地区コミュニティ協議会**は、住民参加でまちづくり計画を策定し、里山ツーリズム事業による関係人口づくりから高齢者等の生活支援まで、多岐にわたる過疎地域の典型的課題に対して、10年近く自立的な地域運営を重ねています。対して、秋田県大仙市の**NPO法人南外さいかい市**は、公設民営のミニスーパーマーケットを開店し、高齢者の見守りも兼ねて移動販売を拡充。住民の声から移動支援の可能性を探るなど、活動内容を選びながら、自分たちが元気なうちにできる身の丈に合った活動を進めています。高知県梶原町の**集落活動センターゆすはら連絡協議会**は、町内全域で立ち上がった6つの集落活動センターが揃って、情報交換や課題の共有、合同でのイベント企画を行っています。こうした地域運営組織の連携プラットフォームは、全国でも先んじた実践例です。鹿児島県龍郷町の**一般社団法人E'more秋名**は、地元の住民有志と地域おこし協力隊経験者が「50年後も子供たちが住みたいと思えるシマ(集落)であり続けてほしい」というコンセプトで立ち上げ、女性たちが主体となって、食堂や宿泊拠点を核に、多彩な関係人口にぎわいを生み出しています。

続いて、全国過疎地域連盟会長賞には、大きく2種類のテーマが並びました。1つ目のテーマは、地域資源の保全活用です。山形県上山市の**羽州街道「檜下宿」研究会**

は、地域の耕作放棄地を茅場に再生させ、刈り取った茅で宿場の茅葺屋根を保全し、歴史的建造物の保存に留まらず、地域文化や経済、教育に及ぶ再生型の持続可能性を追求する好例です。山梨県北杜市の**北杜市南アルプスユネスコエコパーク地域連絡会**も、ユネスコエコパーク登録を機に、地域の資源や文化を学び、知り、魅力を再発見する地元学に通ずる多彩なプログラムが生まれ、老若男女問わず参加があり、地域への誇りを生み出しています。この2団体が地元主体であるのに対し、徳島県上勝町の**特定非営利活動法人郷の元気**は、地域外の専門家集団の有志が、町内の棚田とその農村景観を守るべく、棚田オーナー制や調査研究の受け入れ主体となり、また町内の活動団体とも繋がって地域支援を担ってきました。

2つ目のテーマは、移住定住です。岡山県高梁市の**平川村定住推進協議会**は、新規就農者がお試し移住を通じて、地域とのお見合いを丁寧に重ねられるプロセスを確立し、着実で無理のない移住者受け入れを実現しています。北海道厚沢部町の**保育園留学推進協議会**は、保育園の一時預かり事業や町内の遊休施設、まちの暮らしを体験できるプログラムを「保育園留学」としてパッケージ化し、子育て世代を1~3週間受け入れる新たな文化を作って、留学世帯と地域住民との間に多様な関わりが生まれています。

各地で課題に向き合い、地道に活動に邁進されてきた皆さんに改めて敬意を表するとともに、今回の受賞地域の現場と全国の過疎地域の間で、新たな学びやネットワークが生まれ、地域づくりの輪がさらに広がることを期待しています。

総務大臣賞

だいせんし
秋田県大仙市

なんがい
NPO法人南外さいかい市

地域のことは自分たちで!



店舗前に集まったスタッフ、現在は30人を超える

審査講評

評価のポイント

▶「買い物」は生きる喜びであり命をつなぎ、暮らしの安全網となる。無医地域・デイケア閉鎖やスーパーの撤退、ライフライン縮小の危機意識を抱えながら、自らが元気な「今」のうちに、持続可能な仕組みづくりを模索する。「まずはやってみる」で得たデータをもとに計画行動する。Design-OODAの実践の場。

審査委員のコメント

見守られながら、生涯自宅で暮らせる喜び

「将来の心配をする前に、まず行動する」をモットーにするリーダー、その熱量に引き寄せられ協働する時給125円の熱意ある方々。個々人の地域への投資は「利他」と「利自」を両立する。一石二鳥となるプロジェクト立案思考、よその人の手を借りず、自分たちでできることを深め持続可能な取り組みにする思考、「稼いで回す」という意識が、多くの人との「開いた関係」を構築している。自分も楽しい。自分も安心。「自分も」を基軸にしながその先の「みんなの幸せ」と「生きる楽しさ」を中心に据えた取り組みに、地域投資の在り方の可能性を感じ、幸せな人生(高齢者でも自由で自分らしく生きる)の実現の一助となると期待・応援している。美味しい製品や農産物を地域外の消費者へ届け、売上向上し、循環・持続できる仕組みを大仙市や支所含めて構築することを期待する。



取組の概要

地元唯一のスーパーの廃業で買い物に苦勞していた高齢者を支援しようと、食料品や日用雑貨等を店舗での対面販売や移動販売車による巡回販売で提供している。移動販売車には保健師が同乗し、高齢者の見守りや健康相談も実施。空き家を改修した施設で菓子や漬物を製造し、地域のイベントで販売している。

さらに、高齢世帯向けの昼食付きサロン事業や、地元中学生とのコラボ(地域イベントでの物販スペースの合同運営)など、住民間交流の機会も創出している。



高齢者の買い物支援と見守り活動として実施している移動販売



市主催の移住者交流イベントを支援



地元の高齢者を対象に買い物バスツアーを企画・実施



市・社会福祉協議会との共催で世代間交流事業としてeスポーツサロンを実施

取組のKEY PLAYER



加賀 正夫さん
[NPO法人南外さいかい市理事長]



佐々木 繁雄さん
[NPO法人南外さいかい市事務局長]

「まずはやってみる!」を大事に仲間とともに課題解決に取り組む。

「南外さいかい市」は、市町村合併前から村おこしイベントの運営を通じて親交を深めていた仲間たちとともにつくったグループで、地域住民の買い物支援を中心に、地域の課題を自分たちの身の丈に合ったやり方で解決しようと日々奮闘しています。

新たな取り組みとして地元の高齢者を対象に、南外さいかい市店舗付近から市中心部の医療機関や商業施設までの移動支援サービスをスタートさせました。利用者の送迎先で出張販売を実施したところ、地場産の野菜や自家製のお菓子などの売り上げが好調で、手応えを感じています。

今後は地元高齢者に対する買い物支援の維持継続を優先しつつ、地域住民の居場所づくりにも積極的に貢献したいと考えています。

審査による現地調査でのヒアリング対象者

加賀 正夫さん [NPO法人南外さいかい市理事長] / 佐々木 繁雄さん [NPO法人南外さいかい市事務局長]

だいせんし
秋田県大仙市

団体名……………NPO法人南外さいかい市
所在地……………〒019-1941 秋田県大仙市南外字松木田38番地5
連絡先……………TEL:080-5189-8293
E-mail:saikaiichi2019@gmail.com
URL:https://www.instagram.com/nangai_saikai_ichi/



自治体・団体の詳細は
こちらからご覧いただけます。



総務大臣賞

ゆすはらちよう
高知県梼原町

集落活動センターゆすはら連絡協議会

「できることから進める！」を合言葉に



高知市のひろめ市場前広場にて実施している特産品販売会「ゆすはらフェア」の様子

審査講評

評価のポイント

- ▶ 梼原町の全域をカバーして立ち上がった6つの集落活動センター同士が、切磋琢磨しながら地域づくりの機運を高め合うネットワークの場として活用されている。
- ▶ 当初は、先に設立した集落活動センターが、その経験を共有しながら後発組の立ち上げを応援し、今日では、集落活動センター間の情報交換や課題の共有・相談、合同での物産販売やイベント参加を企画し、町内の集落活動センターを繋ぐ場となっている。

審査委員のコメント

多彩な地域運営組織が集うプラットフォームを構築

梼原町では、旧村の「区」を基本に住民組織をつくる方針を打ち出し、「できることから進める」を合言葉に、町内の6つの区で、各区の文化や特徴を打ち出しながら地域運営組織（RMO）の活動が展開しています。

集落活動センターができて10年。現場からは、「センターがあって、はじめて人やものが集まる」「ここにきて話や作業ができる。生きがいを見つけて、みんな元気になった」。もしセンターがなかったら、「過疎化が進み、もっと寂しく、さびれていたかも」という声が聞かれました。

それでも人口減少や高齢化も10年進み、地域のなりわいを継業したり、移住者や地域の若者に次の担い手を探る「攻め」の一手を探るセンター、従来の事業を縮小して「守り」の形を模索するセンターなど、小さいRMOが現実と向き合いながら、町全体の今後を展望する場として連絡協議会が大きな役割を担い始めています。



取組の概要

高知県梼原町は、明治の大合併により、6つの村が統合、その後昭和41年に町制を施行した。当時の村を「区」として残り、「区長」を中心として、それぞれの文化や特性を活かした住民自治活動を進めている。

これまでの住民のつながりや取り組みから、「区」を基本として集落活動センターを設置し、地域課題の解決に向けて取り組んでいる。



各センターで実施している推進委員会で運営内容などを協議している



地域に必要な物品などを販売することで、遠方に行かなくても買い物ができる



地域の食材で特産品を開発し販売することが、地域の方々のやりがいにつながっている



農産物直販所や簡易宿泊施設など、拠点施設を整備し活動を行っている

取組のKEY PLAYER



氏原 昇佐さん

【集落活動センターゆすはら連絡協議会会長・初瀬区長】



空岡 則明さん

【元集落活動センターゆすはら連絡協議会会長・四万川区長】

地域ごとのオーダーメイドで課題解決に向けた活動を実施しています。

本町での集落活動センターの取り組みは、

- ① 地域住民が危機感を抱き、仕組みづくりの必要性に気づく
- ② 「絆」と「自立」を基本とし、地域住民が主体となって考え、地域課題の解決、地域の魅力を高める仕組みづくりに取り組む
- ③ 地域資源を活用しながら「できることから進める」を合言葉にの3点を方針として、地域のために取り組んできました。

集落活動センター同士の横のつながりをつくるため、本協議会を設立し、地域の取り組みや各センターの課題などを共有し、支え合って活動しています。

地方の人口減少は顕著となっていますが、次世代を担う人材を確保しながら、地域を支える取り組みを継続していきます。

審査による現地調査でのヒアリング対象者

兵頭 真弥さん

【梼原町役場まちづくり産業推進課 主事】

西村 茂則さん

【集落活動センターゆすはら東 会長】

上田 末喜さん

【集落活動センターおちめん 会長】

空岡 則明さん

【集落活動センター四万川 会長】

平脇 慶一さん

【ゆすはらジビエの里 施設長】

松山 榮喜さん

【集落活動センターまつばら 会長】

氏原 昇佐さん

【集落活動センターはつせ 会長】

高知県梼原町

団体名……………集落活動センターゆすはら連絡協議会

所在地……………〒785-0610 高知県高岡郡梼原町梼原1444番地1

連絡先……………TEL：0889-65-1250

E-mail：110-yusuhara@town.yusuhara.lg.jp



総務大臣賞

かのやし
鹿児島県鹿屋市

たかくま
高隈地区コミュニティ協議会

高隈の恵みを活かし人々が集う郷づくり



休耕田を活用した米の生産・販売及び域内の園児、小中学生、地域住民の食育・交流活動の場、みんなにふるまうおにぎり弁当

審査講評

評価のポイント

- ▶ ワークショップや住民アンケート、先進地視察等を積み重ねて丁寧に組み上げられた体制の下、多面的かつ自立的な地域運営に取り組んでいる点。
- ▶ 「高隈らしさ」への自覚と責任を持ち、地区内の主体が一体となった姿勢を継続してきた点。

審査委員のコメント

熱意と緻密さが作り出す「ALL TAKAKUMA」

多岐にわたる過疎地域の典型的課題に対し、多面的かつ丁寧なケアを進めている好事例です。取り組み内容はもとより、協議会発足に至るプロセスやその運営手法等、他地域の規範となる点は多いと感じます。何より「ALL TAKAKUMA」というスローガンの下、地域が一丸となって実直な活動を進める姿は高く評価できます。

この強固な「自治の土台」に、更なる取り組みが積み上げられていくことを期待します。



取組の概要

地域活性化のための活動を継続させながら「支え合い・助け合い」による高齢者等の生活支援体制の仕組みづくり、さらに域外の様々な主体とのつながり・関わりや地域資源等を生かした観光造成によるツアー商品化などにより交流人口・関係人口の増加を目指すとともに、財源確保の取組にも挑戦。



大学との連携「お結びコンテスト」



近くの社会福祉法人が提供するバスで週1回の買い物支援ドライブサロン



田んぼを楽しもう！どろんこソフトバレーボール大会



地域の魅力をぎゅっと詰め込んだ「体験型！地域文化観光ツアー」を造成

取組のKEY PLAYER



浜田 保さん
[高隈地区コミュニティ協議会 会長]

ALL TAKAKUMAで自立した地域経営をめざす。

先人から受け継いだ集落機能・里山景観の維持による環境保全や伝統行事の継承を図りながら、過疎地域ならではの課題をみんなで解決できる体制の構築と自立した地域経営を目指し、

- ①休耕田を再生し、小中学生の田植え体験やスポーツ大会等、食育や交流の場として活用
- ②高齢者等の買い物支援を行うドライブサロンや有償ボランティア組織「おたすけ隊 あったかくマン」を創設
- ③地域資源や食材を活用し、里山の魅力をまるっと詰め込んだ体験メニューを造成「無理なくできること、楽しく幸せになれること、次世代につながること」に着目した活動を厳選しながら地域の総合プロデュースを推し進め、元気と希望を創り続けることで地域の底力を見せたいと考えています。

審査による現地調査でのヒアリング対象者

- 浜田 保さん [高隈地区コミュニティ協議会 会長] / 黒木 次男さん [高隈地区コミュニティ協議会 副会長] / 有村 慎一郎さん [高隈地区コミュニティ協議会 副会長]
- 伊野 幸二さん [高隈地区コミュニティ協議会 まちづくり部 部長] / 濱田 義昭さん [高隈地区コミュニティ協議会 スポーツ部 部長]

かのやし
鹿児島県鹿屋市

団体名 ……高隈地区コミュニティ協議会
所在地 ……〒893-0131 鹿児島県鹿屋市上高隈町262-1
連絡先 ……TEL: 0994-45-2001
E-mail: takakuma@po5.synapse.ne.jp
URL: http://www.takakuma-komikyo.net/



自治体・団体の詳細は
こちらからご覧いただけます。



総務大臣賞

たつごうちょう
鹿児島県龍郷町

いもーれあきな
一般社団法人 E'more秋名

50年後も子どもたちが住みたいと思える
シマ(集落)であり続けてほしい



荒波のやどりで八月踊りをする地域住民と法人関係者たち

審査講評

評価のポイント

- ▶ 龍郷町・荒波地区のにぎわいと人のつながりを生み出すコミュニティデザインが上手になされている点。
- ▶ 「あらば食堂」の運営では地元の女性のみなさんが中心となり、世代間の交流と伝統文化の継承が行われている点。
- ▶ 大学生などを受け入れ、Uターンの若い世代が関係人口の効果的な創出に力を発揮している点。

審査委員のコメント

誰ひとり取り残さない、伝統を大切にしたい地域づくり

「50年後も子供たちが住みたいと思えるシマ(集落)であり続けて欲しい」をテーマに活動する「一般社団法人E'more秋名」。地域おこし協力隊としてこの土地に移り住んだ同法人代表理事の村上裕希さんと地元出身で2018年にUターンした理事の森吉喜美恵さんが、秋名地域を含む荒波地区をはじめとしたエリアのみなさんとともに、誰ひとり取り残さない、伝統を大切にしたい楽しさと優しさにあふれる地域づくりを進めています。目指す姿は「賑やかな過疎」。活動の中心となる施設となる「荒波のやどり」には、さまざまな人が集い、明るい笑い声が響きわたっていました。



取組の概要

「50年後も子どもたちが住みたいと思えるシマ(集落)であり続けてほしい」を胸に、荒波地区に人の流れを生み出し、先人が守ってきた集落の自然・文化、豊かな暮らしぶりを将来に渡って存続させ続けることを目指して活動。「暮らしぶりを伝え、繋げる」取り組みとして、飲食・宿泊事業、体験プログラムや関係人口創出事業(インターンシップ/企業向け研修)などにより、ソトとナカを巻き込んだ持続可能な地域づくりへの貢献を目指す。



地域在住の主婦5名が日替わりで担当し、それぞれのレシピで調理



スタッフ以外も加わり島料理の伝承と継承活動を担う「荒波まーじんま」



「荒波まーじんま」が講師となり、料理教室を開催し、地域外にも伝承



都市部企業向け研修として地域課題を絡めた越境学習プログラムを提供

取組のKEY PLAYER



村上 裕希さん
[一般社団法人 E'more秋名 代表理事]



森吉 喜美恵さん
[一般社団法人 E'more秋名 理事]

ソトとナカの協働を生み出す仕掛け人となり、賑やかな過疎を創る。

かつて奄美有数の賑やかな地域であった秋名が5年間で20%もの人口が減少していた2016年、龍郷町は地域おこし協力隊を導入。秋名らしさを残し、地域を応援してくれる人たちを呼び込むために熟議を重ね、2018年に住民有志で立ち上げました。

看板事業「あらば食堂」立ち上げと同時にコロナ禍を迎え、来島者が見込まれない中「暮らしぶりを伝えるとは何か」を問い続け、島の人にも来島者にも奄美らしさと懐かしさ、そして親しみのある事業を作り上げることができました。

今後も、協働の仕掛け人として、ソトもナカも巻き込みながら、50年後も子どもたちが住みたいと思えるような賑やかな過疎づくりに貢献していきたいと思っています。

審査による現地調査でのヒアリング対象者

村上 裕希さん [一般社団法人 E'more秋名 代表理事] / 森吉 喜美恵さん [一般社団法人 E'more秋名 理事]

たつごうちょう
鹿児島県龍郷町

団体名 一般社団法人 E'more秋名
所在地 〒894-0333 鹿児島県大島郡龍郷町秋名1767-1
連絡先 TEL: 0997-58-8842
E-mail: info@e-akina.com
URL: https://e-akina.com/



自治体・団体の詳細は
こちらからご覧いただけます。



保育園留学推進協議会

次の100年を創造する地域の家族と繋がりをつくる！



全国から園児の受け入れを行う「認定こども園はぜる」

審査講評

評価のポイント

- ▶ 官民の丁寧な連携に基づき、遊休リソースと新規サービスとの巧みな組み合わせによって「保育園留学」という新たな文化を普及させていこうとする点
- ▶ 留学世帯と地元住民との関わりや留学後の保護者同士の交流等、保育園の外の世界における多様かつ偶発的な関係の構築がデザインされている点

審査委員のコメント

地域内外を繋ぐ「関係の種まき」の新たなかたち

地域の弱みと強みの両方を睨んだ結果としての「保育園留学」という鮮やかな回答は、今後様々な地域に導入されていくべき取り組みであると感じます。行政と民間、そして保育園がコミュニケーションを取りながら、オンライン診療や夕食サービス等の様々なコンテンツを付帯させていく姿勢も高く評価できます。留学園児の成長や進学に伴う派生需要や新たな関係づくり等、これからの様々な可能性にも期待したいです。



取組の概要

保育園の一時預かり事業、移住体験住宅などの遊休施設、まちの暮らしを体験できる収穫体験などのプログラムを「保育園留学」としてパッケージ化。保育園留学の受入窓口をシステム化し、町と連携協定を締結している㈱キッチンハイクと官民連携により全国から保育園留学したい子育て家族を1週間～3週間受け入れ、ワーケーションを促進し、超長期的な関係人口創出と地域活性化を図る。



アスパラ収穫体験の様子



テレワークも可能な移住体験住宅



園児たちの「あっさぶメーカーイン」収穫体験



自分たちで収穫した野菜をつかって「はぜる園庭クッキング」

取組のKEY PLAYER



木口 孝志さん
【保育園留学推進協議会事務局
（厚沢部町政策推進課主幹）】



山本 雅也さん
【株式会社キッチンハイク代表取締役】

次の100年を創造する関係人口創出を目指します。

保育園留学は、コロナ禍による働き方の多様化やコロナ禍における制限等が子育て環境の充実を求める子育て世代のニーズにうまく合致した取り組みです。また、保育園留学児へのメリットはもちろんですが、在園児におけるメリットも大きく、たくさんの保育園留学児が訪れることで、「飛行機できた」「数十階のマンションに住んでいる」「フェリーできた」など、在園児の非日常と留学児の日常が触れ合うことで、好奇心やコミュニケーション能力の向上に繋がっています。最近では海外から保育園留学に訪れるケースもあり、在園児にとっては、この小さな過疎の町にしながら保育園留学を通して世界を知ることができる貴重な経験となっています。

審査による現地調査でのヒアリング対象者

合浦 博昭さん
【厚沢部町副町長】

高田 一弥さん
【保育園留学推進協議会長】

木口 孝志さん
【保育園留学推進協議会事務局（厚沢部町政策推進課主幹）】

斉藤 紋子さん
【認定こども園長】

橋端 純恵さん
【認定こども園主幹保育教諭】

西村 智香さん
【認定こども園主幹保育教諭】

小田 教貴さん
【素敵な過疎づくり推進員】

山本 雅也さん
【株式会社キッチンハイク代表取締役】

北海道厚沢部町

団体名 …… 保育園留学推進協議会
所在地 …… 〒043-1113 北海道檜山郡厚沢部町新町207番地
連絡先 …… TEL: 0139-64-3312
E-mail: s-seisaku@town.assabu.lg.jp
URL: https://hoikuen-ryugaku.com/destination/hokkaido/assabu



自治体・団体の詳細は
こちらからご覧いただけます。



全国過疎地域連盟会長賞

かみのやまし
山形県上市市

うしゅうかいどう ならげしゆく
羽州街道「檜下宿」研究会

茅葺文化の適正な保存と活用を通じた歴史まちづくり



羽州街道「檜下宿」研究会のみなさん

審査講評

評価のポイント

- ▶ 多様な主体と協働した茅葺文化の保存・再生とともに、地域循環型のサイクルを実践している点。
- ▶ 歴史的建造物と地域のコミュニティが相乗し、まちづくりへの愛が生まれ、次世代に向けた教育が深まっている点。
- ▶ リジェネラティブ・サステナビリティ（再生型持続可能性）の好例である点。

審査委員のコメント

「再生」という手法で、交流人口と関係人口を広げる

400年以上続く「檜下宿」のことが大好きな羽州街道「檜下宿」研究会のみなさんが、茅場の再生という手法を取って交流人口と関係人口を拡大しています。小学生や大学生が仲間となり、歴史的建造物の保存にとどまることなく、地域の文化・経済、そして教育と環境の未来を考え、主体的に取り組むコミュニティに発展させていることが印象的でした。「活動を長く続けるためには、ぼちぼちと。自分たちがまず楽しむことが大切」という同研究会会長の佐藤司郎さんの言葉は現在のまちづくりの手法の核心についています。



取組の概要

自分たちが楽しみながら檜下宿をよりいっそう盛り上げるとともに、ふるさとで受け継がれてきた貴重な茅葺文化の適正な保存と、江戸時代の宿場の風情を今に伝える歴史的建造物の活用を図るため活動している。

檜下宿では茅葺文化を地域で守り、正しく後世に伝える「かみのやま草屋根プロジェクト」の実践のほか、地域コミュニティの絆を深めるイベントづくりや宿場の風情を醸し出す歴史的建造物を活かした教育活動などの各種取組を住民主導で実施している。



11月に行う茅刈りを地区を越えたイベントとして実施、令和5年度には総勢80名が参加した



4月末から5月まで集落を横断する金山川に鯉のぼりを泳がせる



春と秋に檜下産そばで来訪者をもてなすそば祭りを開催



全国の学校が実施する社会科見学を受け入れ、国史跡である檜下宿を案内しながら歴史を子どもたちに伝える

取組のKEY PLAYER



佐藤 司郎さん
[羽州街道「檜下宿」研究会会長]

頑張りすぎず、自分たちが楽しみながら活動している。

研究会は、地域の歴史や文化を活かしながら活力ある地域をつくることを目的に、平成20年に発足した組織です。月1回の話し合いを欠かさずに、檜下宿を盛り上げるため活動しています。

話し合いで出た課題について、「さんなね」（しなれば）ではなく「すっぺ」（しようか）で、自分たちが楽しんで様々な活動に取り組むうちに、次第に人が集まるようになり、活動を楽しみに檜下宿に来てくれる方が増えていきました。

国史跡である殿様も歩いた宿場の街並みを活かし、これからもよりいっそう活気ある地域をめざします。

審査による現地調査でのヒアリング対象者

- | | | |
|-----------------------------|-----------------------------|------------------------------|
| 佐藤 司郎さん
[羽州街道「檜下宿」研究会会長] | 佐藤 善美さん
[羽州街道「檜下宿」研究会会員] | 佐藤 三雄さん
[羽州街道「檜下宿」研究会会員] |
| 齋藤 茂美さん
[羽州街道「檜下宿」研究会会員] | 佐藤 道子さん
[羽州街道「檜下宿」研究会会員] | 佐藤 はるみさん
[羽州街道「檜下宿」研究会会員] |

かみのやまし
山形県上市市

団体名 …… 羽州街道「檜下宿」研究会
所在地 …… 〒999-3225 山形県上市市檜下58
連絡先 …… TEL: 023-674-2426
E-mail: jykn-58@outlook.jp



北杜市南アルプス ユネスコエコパーク地域連絡会

環境保全の一層の推進と人的交流の活性化



北杜市から見る甲斐駒ヶ岳、これまでの活動を振り返って

審査講評

評価のポイント

- ▶ 経済活動と自然環境の保全の両立を目指すユネスコエコパークの理念のもとで、市内の白州・武川エリアがひとつにまとまり、地域密着型の活動を10年にわたり展開させてきた。
- ▶ 地域の資源や文化を学び、知り、魅力を再発見する「地元学」に繋ぎ、子どもから大人まで関わる多彩なプログラムを通して、「いいところに住んでいる」ことをみんなで共有し、誇りを生み出した。

審査委員のコメント

世代間交流で身近なものの価値に気づく機会に

南アルプスユネスコエコパークへの登録をきっかけに、北杜市域の白州・武川エリアで立ち上がった地域密着型の活動組織。当初、地域内の主要な役職で会を構成し手探り状態でしたが、次第に活動に賛同するメンバーが主体となって、連絡会を10年かけて育ててきました。現在では3つの部会で、できる範囲で常に新しいことに挑戦し、エリアのシンボルである中山での近自然工法を活かした登山道整備ワークショップや、大武川などでの水生生物調査、自然災害伝承碑を活かした防災伝承など、様々な参加の場を設けています。地域をエコパークの精神で盛り上げようと活動する「素人」集団ながらも、活動がマンネリ化しないよう広報活動にも注力し、地域内外から広く連携・応援も得て持続できる会のあり方を探っています。



取組の概要

2014年6月、南アルプスがユネスコによってエコパークに登録された。当市ではこれを地域活性化の好機ととらえ、各界の代表による連絡会を創設した。中山を新規観光資源として開発、児童生徒、地域への認識を高める登山や自然学習、近自然工法による登山道整備などの活動を通して、住民や企業等の理解や協力が得られてきた。

今後もSDGsの観点のもと、人々の主体的な参画を得られるよう活動を企画していく。



日向山や甲斐駒ヶ岳の登山道を近自然工法で整備



白州・武川の小中学生を対象に南アルプスエリア内の川にて水生生物調査



中山や精進ヶ滝などでハイキング、現地で地層の学習を実施



白砂山自元寺にて精進料理や坐禅、写仏などを実施

取組のKEY PLAYER



日向勝さん
[北杜市南アルプスユネスコエコパーク地域連絡会 初代会長・顧問]



古屋賢仁さん
[北杜市南アルプスユネスコエコパーク地域連絡会 第2代会長・顧問]



長坂正さん
[北杜市南アルプスユネスコエコパーク地域連絡会 会長]

環境保全と過疎対策。一体のものとして諸活動を取り組もう。

会の発足から10年。これまでの活動を振り返ることによって、今後の活動が見えてきました。環境保全を柱に、地域の価値を広く周知して活力ある北杜を目指します。

雄大な自然の豊かな恵みの恩恵にあずかるだけでなく、ここに暮らす私たちが行動していくことによって、訪れる人々への働きかけになるよう努めていきたいと思っています。

ぜひ北杜市にお出かけください。お待ちしております。

審査による現地調査でのヒアリング対象者

長坂正さん
[北杜市南アルプスユネスコエコパーク地域連絡会 会長]

名取強さん
[北杜市南アルプスユネスコエコパーク地域連絡会 副会長]

溝口克己さん
[北杜市南アルプスユネスコエコパーク地域連絡会 副会長]

山梨県北杜市

団体名 ……北杜市南アルプスユネスコエコパーク地域連絡会
所在地 ……〒408-0188 山梨県北杜市須玉町大豆生田961-1 (北杜市観光課内)
連絡先 ……TEL: 0551-42-1351
E-mail: kannkou@city.hokuto.yamanashi.jp



平川村定住推進協議会

みんなが主役天空の郷・平川 ～地域ぐるみの定住・新規就農者の受入体制確立～



令和6年度総会において会員、行政関係者などで力強く「頑張ろう！」コールをしている様子 (R6.6.27)

審査講評

評価のポイント

▶ 移住希望者が、まずは通いながら平川地区での暮らしや農業を体験できる制度が整っており、その結果、移住者13組29人が全員定着している。ミスマッチを防ぎ、地域、移住者双方に良い形になっている。

審査委員のコメント

地域も移住者も安心できる環境を整備

地区内に「お試し住宅」を整備しており、希望者が仕事を退職することなく都合の良いときに宿泊し、農作業や地域行事の体験、住民との交流を行うことができています。ゆっくり時間をかけて両者の信頼関係を構築できることが大きなメリットであり、現地調査でも移住者からも安心して移住できたという声が聞かれた。その体制の整備に向けて、地区内の推進協議会で丁寧に議論し、合意形成を行っている姿勢も印象的であった。



取組の概要

平川村定住推進協議会は、地域の特産品であるぶどうやトマトを栽培し、定住・就農を希望する方と地域とのマッチングを図っており、また地域も農地や住居等の紹介・斡旋など行うことで、産地を維持しつつ、定住を促し地域活性化を図っている。

【具体的な取組】

- ①協議会が自主的に移住者(ぶどう・トマトの新規就農者)の受入体制を整備
- ②農業・田舎暮らし体験の場を提供
- ③農地や空き家調査の実施



体験田舎暮らし事業のオリエンテーションの様子



就農希望者に対して栽培方法など説明する農家



新規就農者を受け入れるために、2017年に整備したほ場(1.8ha)には4農家が営農している



一時、就学前の子供が1人の時もあったが、現在では7人まで増えた

取組のKEY PLAYER



江草 孝一さん
[平川村定住推進協議会 会長]

諸先輩方の思いと関係機関(者)等の協力があったからこそ、ここまで進めてきた15年。

私は3代目の会長としてお世話をさせてもらっています。立ち上げから軌道に乗るまでには、諸先輩方の「産地を守る」「農業振興で地域を活性化」という強い思いがあったからこそ、ここまで進めてきていることと感謝しています。

また、これは県、市、農協など関係機関とも情報を共有し、連携している成果でもあると思っています。お陰様で、組織の役員も半数がかつての新規就農者・移住者となり、指導農家としても活躍してもらっています。

「気負わず、焦らず、諦めず」を組織の合言葉として、今後も地道に着実に取り組んでいきたいと考えています。

審査による現地調査でのヒアリング対象者

- 江草 孝一さん [平川村定住推進協議会 会長]
- 物部 徹也さん [平川村定住推進協議会 副会長]
- 佐久間 秀治さん [平川村定住推進協議会 副会長]
- 瀬戸川 伸行さん [平川村定住推進協議会 監事]
- 丹正 鎮夫さん [平川村定住推進協議会 事務局長]

岡山県高梁市

団体名 平川村定住推進協議会
 所在地 〒716-0311 岡山県高梁市備中町平川11457
 連絡先 TEL: 0866-45-2359 090-8249-7374
 E-mail: info@hirakawa-teijyuu.jp
 URL: https://hirakawa-teijyuu.jp/



自治体・団体の詳細はこちらからご覧いただけます。



特定非営利活動法人 郷の元気

農山漁村地域の中間支援を行ない郷に元気を創ります



棚田オーナー制田植え（椋原の棚田、小松島西高勝浦校と連携）

審査講評

評価のポイント

▶「専門家こそ、田舎へ行け」という先人の言葉を胸に抱く濃密なヨソモノである専門家が「椋原の棚田及び農村景観」（重要文化的景観）の保全を草の根活動をしつつ俯瞰し、時には戦略を練り、時には適切な助言をし、実験・調整しながら牽引していく。棚田のめぐみ感動ビジネス構築を目指し、専門人材の地域への支援（コミュニティデザイン）の理想的な在り方。

審査委員のコメント

高い志の継続した牽引と支援

健全な風景は健全な暮らしと生業の表出であり、景観はそこに暮らす方の生きざまの集大成であることを体現する「椋原の棚田及び農村景観」（重要文化的景観）は、多くの人を感動させる。約200年にわたり水田・家屋・道等の土地利用の変化がない風景を保全するには、産業構造や食文化の変化、下げ止まらない過疎化を背景にすると、交流人口の増加が不可欠。ヤマビコ・アート・教育・研究など、同様な課題を持つ地域との交流・メタバースなどを活用した新たな視点での交流を実施し、上勝町で行われている他の様々な組織の活動や事業をつないできた。その集大成として価値観を共有する新たな照準を生物圏保存地域（ユネスコエコパーク）とする姿は志し高く、200年の間に日本人が何処かに置いてきてしまった暮らしや思考を取り戻す一助になると期待・応援している。このような中間支援組織の初期活動を支援してこども、国土保全を加速させる一つである。今後は、棚田オーナー制度はサブリースの可能性も模索されると、関係人口の増加や維持管理にコミットできる可能性が出てくるのではないかと。



取組の概要

郷の元気は、農山漁村の中間支援を活動の骨格として2005年に上勝町で設立した。「郷土」「故郷」を元気な姿で、後世に伝承していく活動を行っている。

具体活動として、複数の活動組織の設立支援、集落組織とした棚田オーナー制の創設運営、地域棚田協議会と連携した棚田電動キックボード、棚田ライトアップのほか、近年、遊休農地を活用した棚田キャンプの創設、子供食堂と連携した食育棚田交流活動などを展開している。



早乙女田植え（椋原の棚田、集落組織と連携）



棚田電動キックボード（田野々の棚田、棚田未来づくり協議会と連携）



親子の棚田体験交流（中津賀地区、徳島市の子供食堂と連携）



18年つづく集落組織との連携会議（椋原の棚田村）

取組のKEY PLAYER



澤田 俊明さん
[特定非営利活動法人 郷の元気 代表理事]



佐藤 幸好さん
[特定非営利活動法人 郷の元気 副代表理事]



大山 沙代美さん
[特定非営利活動法人 郷の元気 企画担当]

あきらめない!

市町村合併による行政組織消滅の危機感から2005年に設立しました。継続活動の中で、集落組織や連携組織との信頼関係が構築できていることは大きな財産です。

一方で、これらの中間支援活動や協働構築活動は、時間もかかり見えにくい活動の特性から、継続的な活動支援者や活動資金の確保に苦労しています。本組織での活動対象の地域集落組織の高齢化等による遊休棚田農地が一気に増加しています。農地の遊休化を逆に交流のチャンスととらえ、棚田キャンプ等の環境保全型の棚田感動ビジネスを展開していきたいと考えています。

審査による現地調査でのヒアリング対象者

澤田 俊明さん [特定非営利活動法人 郷の元気 代表理事] / 片桐 悠さん [上勝町地域おこし協力隊]

徳島県上勝町

団体名 特定非営利活動法人 郷の元気
所在地 〒771-4501 徳島県勝浦郡上勝町大字福原字川北30番地
連絡先 TEL: 0885-46-0676
E-mail: satonogenki@kkcatv.jp
URL: https://01satonogennki.amebaownd.com/



自治体・団体の詳細はこちらからご覧いただけます。



過疎地域持続的発展優良事例表彰 受賞団体一覧

総務大臣賞

平成12年度までは国土庁長官賞。平成13年度より総務大臣賞。

年度	都道府県	団体名	市町村等名
平成2年度	福島県	飯舘村	和泉村
	福井県	和泉村シャノン村運営委員会	
	長野県	八坂村	
平成3年度	高知県	大川村	
	大分県	姫島村	
	宮崎県	南郷村	
	北海道	置戸町	
	群馬県	川場村	
平成4年度	兵庫県	但東町	
	鳥根県	仁多町	
	長崎県	美津島町	
	鹿児島県	祁答院町	
	北海道	鷹栖町	
平成5年度	秋田県	皆瀬村	
	群馬県	上野村	
	山口県	本郷村	
	福岡県	矢部村	
	沖縄県	伊江村	
平成6年度	北海道	上湧別町	
	福島県	常葉町	
	京都府	美山町	
	和歌山県	清水町	
	岡山県	東粟倉村	
平成7年度	大分県	天瀬町	
	岐阜県	河合村	
	奈良県	野迫川村	
	広島県	三和町	
	徳島県	上勝町・勝浦郡農協上勝彩部会	
平成8年度	高知県	梶原町	
	宮崎県	綾町	
	岩手県	藤沢町	
	新潟県	入広瀬村	
	兵庫県	五色町	
平成9年度	佐賀県	七山村	
	沖縄県	竹富町	
	岩手県	東和町	
	山梨県	芦安村	
	長野県	飯山市	
平成10年度	広島県	高宮町	
	愛媛県	日吉村	
	北海道	新得町	
	福島県	昭和村	
	新潟県	板倉町寺野オートピア実行委員会	
平成11年度	鳥根県	金城町	板倉町
	熊本県	東陽村	
	山形県	西川町	
	富山県	山田村	
	兵庫県	朝来町	
平成12年度	宮崎県	椎葉村	
	沖縄県	北大東村	
	福島県	西会津町	
	静岡県	本川根町	
	鳥根県	中国山地県境市町村連絡協議会	
平成13年度	高知県	中土佐町	東頸城郡
	鹿児島県	宮之城町	
	宮城県	登米町	
	山梨県	身延町、身延駅しょうにん通り商業協同組合	
	岐阜県	明宝村	
平成14年度	京都府	日吉町	
	宮崎県	西米良村	
	新潟県	越後田舎体験推進協議会	
	山梨県	早川町	
	鳥根県	石見町	
平成15年度	大分県	久住町	
	山形県	立川町	
	千葉県	富浦町	
	鳥取県	智頭町	
	岩手県	沢内村	
平成16年度	新潟県	山北町	中辺路町
	宮崎県	諸塚村	
	新潟県	高柳町	
	和歌山県	中辺路町森林組合	
	沖縄県	東村	
平成17年度	北海道	しもかわアイスクリームミュージアム実行委員会	下川町
	福島県	飯舘村	
	徳島県	三好町	
	熊本県	水俣市久木野地域振興会	
	大分県	大分大山町農業協同組合	

年度	都道府県	団体名	市町村等名
平成18年度	北海道	清里町及び清里町花と緑と交流のまちづくり委員会	大崎市
	宮城県	鳴子ツーリズム研究会	
	新潟県	魚沼市	
平成19年度	熊本県	財団法人学びの里	小国町
	福島県	三島町	
	新潟県	高根フロンティアクラブ	
	奈良県	十津川鼓動の会	
	高知県	森の果箱運営委員会	
平成20年度	大分県	株式会社つえービー	朝日村
	福島県	元気な川内を創る会	
	石川県	NPO法人 やすらぎの里 金蔵 (かなくら) 学校	
	兵庫県	農村歌舞伎「葛畑座」	
	鳥根県	奥出雲町	
平成21年度	沖縄県	伊是名村	朝日村
	福島県	特定非営利活動法人 ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会	
	長野県	木曾広域連合	
	和歌山県	田辺市	
	熊本県	水俣市	
平成22年度	北海道	下川町	沼津市
	静岡県	特定非営利活動法人 戸田どっとこむ	
	高知県	株式会社 大宮産業	
	北海道	長野県	
	鹿児島県	特定非営利活動法人 プロジェクト南からの潮流	
平成23年度	岩手県	葛巻町	飯南町
	鳥根県	谷自治振興会	
	愛媛県	株式会社 しまの会社	
	群馬県	神流マウンテンラン&ウォーク実行委員会	
	石川県	株式会社 のろし	
平成24年度	愛知県	田峰観音奉納歌舞伎谷高座	上島町
	鳥根県	邑南町	
	新潟県	株式会社 あいポート仙田	
	愛知県	特定非営利活動法人 てほへ	
	鳥根県	江津市	
平成25年度	徳島県	特定非営利活動法人 グリーンバレー	神山町
	岐阜県	特定非営利活動法人 飛騨小坂200滝	
	三重県	島の旅社推進協議会	
	鳥根県	益田市真砂地区	
	鹿児島県	特定非営利活動法人 顔姪おこそ会	
平成26年度	宮城県	くりはらツーリズムネットワーク	南九州市
	鳥根県	雲南市	
	岡山県	あば村運営協議会	
	長崎県	一般社団法人 南島原ひまわり観光協会	
	青森県	八戸市	
平成27年度	新潟県	公益社団法人 中越防災安全推進機構 ムラビト・デザインセンター	長岡市
	奈良県	公益財団法人 吉野川紀の川源流物語	
	岡山県	宇治地域まちづくり推進委員会	
	鹿児島県	特定非営利活動法人 Lab 蒲生郷	
	新潟県	特定非営利活動法人 越後妻有里山協働機構	
平成28年度	岐阜県	郡上市	十日町市
	徳島県	丹生谷 清流座	
	佐賀県	唐津市相知町 藤野集落	
	鹿児島県	日置市高山地区公民館	
	北海道	特定非営利活動法人 上土幌コンシェルジュ	
平成29年度	静岡県	企業組合 くれげ	上土幌町
	鳥根県	青河自治振興会	
	山口県	周防大島町	
	青森県	プロジェクトおおわに事業協同組合	
	静岡県	企業組合であい村蔵ら	
令和元年度	和歌山県	天野の里づくりの会	大鰐町
	鹿児島県	特定非営利活動法人 子育てふれあいグループ自然花	
	新潟県	粟島浦村	
	福井県	和泉自治会	
	愛知県	敷島自治会	
令和2年度	三重県	特定非営利活動法人 のってこらい	松崎町
	佐賀県	ちやのきエンテューロ実行委員会	
	兵庫県	与布土地域自治協議会	
	徳島県	特定非営利活動法人美郷宝さがし探検隊	
	高知県	いしはらの里協議会	
令和3年度	長野県	根羽村	かつらぎ町
	岐阜県	飛騨市	
	徳島県	特定非営利活動法人阿波勝浦井戸端塾	
	大分県	くにさき地域応援協議会 寄ろう会	
	宮城県	一般社団法人筆南地区振興連絡協議会	
令和4年度	新潟県	山古志住民会議 / ネオ山古志村 (山古志 DAO)	枕崎市
	富山県	朝日町 MaaS 実証実験推進協議会	
	鳥根県	株式会社まちづくり日野	
	鳥根県	菅地域振興会	
	鳥根県	菅地域振興会	
令和5年度	北海道	特定非営利活動法人 湯島川	栗島浦村
	山形県	永野を考える会	
	愛媛県	河辺村	
	沖縄県	南大東村	
	北海道	常呂カーリング協会	
令和6年度	宮城県	食の博物館実行委員会	大野市
	鳥取県	日南町	
	徳島県	NPO法人 INE OASA	
	秋田県	勝浦町	
	山形県	尾花沢市	
令和7年度	鳥取県	佐治村	豊田市
	大分県	豊後高田商工会議所	
	青森県	NPO法人グリーンエネルギー青森	
	京都府	久美浜百珍の会	
	鳥根県	日南川交流会	

全国過疎地域連盟会長賞

平成11年度までは全国過疎地域活性化連盟会長賞。平成12年度から令和2年度までは全国過疎地域自立促進連盟会長賞。

年度	都道府県	団体名	市町村等名
平成3年度	青森県	市浦村	小川村
	長野県	株式会社小川の庄	
	愛知県	足助町緑の村協会	
平成4年度	三重県	飯高町	
	徳島県	井川町	
	岩手県	山形村	
	山梨県	小菅村	
	岐阜県	白川町	
平成5年度	愛媛県	松野町	泉村
	熊本県	泉村	
	青森県	稲垣村	
	岩手県	住田町	
	富山県	山田村	
平成6年度	香川県	池田町	羽幌町
	長崎県	新魚目町	
	北海道	サンセット王国	
	北海道	鹿追町	
	宮城県	鶯沢町	
平成7年度	長野県	開田村	大島町
	石川県	吉野谷村	
	熊本県	清和村	
	福島県	檜枝岐村	
	石川県	中島町	
平成8年度	長野県	南信濃村	
	岡山県	美甘村	
	長崎県	長崎大島醸造株式会社	
	北海道	生田原町	
	滋賀県	朽木村	
平成9年度	鳥根県	西ノ島町	長岡市
	長崎県	鷹島町	
	沖縄県	上野村	
	秋田県	岩城町	
	茨城県	美和村	
平成10年度	石川県	柳田村	十日町市
	岐阜県	馬瀬村	
	鹿児島県	里村	
	北海道	新冠町	
	岩手県	大東町	
平成11年度	千葉県	和田町	大森町
	岡山県	加茂川町	
	長崎県	高島町	
	北海道	丸瀬布町	
	秋田県	大森町	
平成12年度	三重県	宮川村	江差町、上ノ国町、松前町
	大分県	直入町	
	北海道	歴史を生かしたまちづくりネットワーク推進協議会	
	石川県	白峰村	
	山口県	豊田町	
平成13年度	徳島県	日和佐町	日野町
	石川県	珠洲市	
	鳥取県	株式会社まちづくり日野	
	鳥根県	作木村	
	熊本県	菅地域振興会	
平成14年度	北海道	浜益小劇場	矢部町
	静岡県	妻良観光協会及び子浦観光協会	
	和歌山県	美山村	
	鳥根県	菅地域振興会	
	鳥根県	菅地域振興会	
平成15年度	愛媛県	河辺村	南伊豆町
	沖縄県	南大東村	
	北海道	常呂カーリング協会	
	宮城県	食の博物館実行委員会	
	鳥取県	日南町	
平成16年度	徳島県	NPO法人 INE OASA	大朝町
	新潟県	勝浦町	
	秋田県	西木村	
	山形県	尾花沢市	
	鳥取県	佐治村	
平成17年度	大分県	豊後高田商工会議所	豊後高田市
	青森県	NPO法人グリーンエネルギー青森	
	京都府	久美浜百珍の会	
	鳥根県	日南川交流会	
	愛媛県	宮窪水産研究会	

年度	都道府県	団体名	市町村等名
平成18年度	奈良県	普爾村	周南市
	山口県	大潮地区活性化推進協議会	
	高知県	土佐れいほく農業協同組合	
平成19年度	宮崎県	串間市笠祇地区	土佐町
	鹿児島県	山ヶ野金山文化財保護活用実行委員会	
	北海道	標津町	
	鳥根県	武良づくり企画実行委員会	
	福岡県	添田町観光ガイドボランティア	
平成20年度	青森県	津軽鉄道サポーターズクラブ	添田町
	長野県	株式会社 まちづくり木曾福島	
	大分県	株式会社 夢のぼり工房	
	長野県	栄村	
	徳島県	美郷商工会	
平成21年度	沖縄県	くすくグリーンツーリズムさるかの会合同会社	霧島市
	長野県	財団法人 妻籠を愛する会	
	岐阜県	社会福祉法人 高山市社会福祉協議会	
	北海道	素敵な過疎づくり 株式会社	
	鳥根県	株式会社 萩の会	
平成22年度	宮崎県	戸川地区石垣の村管理組合	宮古島市
	北海道	鹿追町	
	宮城県	NPO法人 ひっぱUI ターンネット	
	愛知県	豊根村	
	広島県	生桑振興会	
平成23年度	福島県	会津山都そび協議会	吉野川市
	岐阜県	特定非営利活動法人 奥矢作森林塾	
	長崎県	雪浦ウィーク実行委員会	
	長崎県	若松ふるさと塾	
	熊本県	寄り会みなまた	
平成24年度	鹿児島県	一般社団法人 なかわり生薑山農園	安芸高田市
	三重県	ビジョン早田実行委員会	
	徳島県	もんでこい丹生谷運営委員会	
	福島県	一般社団法人 IORI 倶楽部	
	広島県	田幸ふるさとランチグループ	
平成25年度	香川県	五名活性化協議会	喜多市
	鹿児島県	大野地区公民館	
	長崎県	里村	
	静岡県	特定非営利活動法人 かんばらまいか佐久間	
	奈良県	特定非営利活動法人 うちの館	
平成26年度	和歌山県	真田こい茶屋	恵那市
	三重県	尾鷲市	
	徳島県	那賀町	
	福島県	一般社団法人 IORI 倶楽部	
	広島県	田幸ふるさとランチグループ	
平成27年度	香川県	五名活性化協議会	那賀町
	鹿児島県	大野地区公民館	
	長崎県	里村	
	静岡県	特定非営利活動法人 かんばらまいか佐久間	
	奈良県	特定非営利活動法人 うちの館	
平成28年度	和歌山県	真田こい茶屋	三島町
	三重県	尾鷲市	
	徳島県	那賀町	
	福島県	一般社団法人 IORI 倶楽部	
	広島県	田幸ふるさとランチグループ	
平成29年度	福井県	池田町	三次市
	愛知県	一般社団法人 おいでん・さんそん	
	愛媛県	四国西予ジオパーク推進協議会	
	岡山県	中和地域づくり委員会	
	岡山県	梶並地区活性化推進委員会	
平成30年度	山口県	特定非営利活動法人 ゆうゆうグリーン倶楽部	東かがわ市
	徳島県	四国の秘境 山城・大歩危妖怪村	
	愛媛県	まちづくり学校双海人	
	北海道	夕張市	
	青森県	わきのざわ温泉湯好会	
令和元年度	奈良県	NPO法人五新線再生推進会議	尾松市
	奈良県	株式会社黒滝森物語村	
	鳥根県	GOTO ☆ワンハート	
	鳥根県	石川町	
	京都府	NPO法人「気張る！ふるさと丹後町」	
令和2年度	熊本県	くまもと☆農家ハンター	豊田市
	熊本県	美里フットパス 協会	
	北海道	標津町商工会女性部	
	高知県	NPO法人いなかみ	
	福岡県	八女市大洲区	
令和3年度	佐賀県	からつてつこの島活性化協議会	美里町
	宮崎県	渡川こいの郷加工グループ (渡川マンマ)	
	沖縄県	狩俣自治会	
	北海道	美里フットパス 協会	
	高知県	NPO法人いなかみ	
令和4年度	福岡県	八女市大洲区	香美市
	佐賀県	からつてつこの島活性化協議会	
	宮崎県	渡川こいの郷加工グループ (渡川マンマ)	
	沖縄県	狩俣自治会	
	北海道	美里フットパス 協会	
令和5年度	鳥根県	石川町	八女市
	徳島県	特定非営利活動法人 あったかいよう	
	鳥根県	株式会社ホップジャパン	
	鳥根県	昭和村	
	富山県	論田自治会及び熊無自治会、ろんくま移住促進委員会	
令和6年度	兵庫県	特定非営利活動法人 本と温泉	唐津市
	徳島県	家賀再生プロジェクト	
	鳥根県	昭和村	
	鳥根県	株式会社ホップジャパン	
	鳥根県	昭和村	
令和7年度	鳥根県	昭和村	美郷町
	鳥根県	昭和村	

総務省地域力創造グループ過疎対策室

〒100-8926 東京都千代田区霞が関 2-1-2
TEL 03-5253-5536 FAX 03-5253-5537
https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/c-gyousei/2001/kaso/kasomain0.htm



一般社団法人全国過疎地域連盟

〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-5-4
加藤ビル3階
TEL 03-5244-5827 FAX 03-5244-5828
<https://www.kaso-net.or.jp/>

